

第6学年1組 総合的な学習の時間学習指導案

指導者
学習指導補助員

坂上 有紀
〇〇 〇〇(AT)

1 単元名 「地域の人から夢を見つけよう」

2 目 標

- 自分のよさに気付くとともに、相手の立場に立って考え、発言したり、行動したりすることができる。 (人間関係形成能力) 1
- いろいろな職業や生き方、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連を理解し、今しなければならぬことや、これからの生き方、進路を考えることができる。 (情報活用能力) 2
- 就きたい仕事やなりたいものなどの希望をもち、それを実現するための進路計画をまとめ、実行しようとする。 (将来設計能力) 3
- 進路計画の実現に向け、自ら課題を考え、主体的に努力することができる。 (意思決定能力) 4

<キャリア教育の視点>

- 1-①自分の長所や短所に気付き、自分らしさを発揮する。
- 1-②相手の立場に立って考え、発言したり、行動したりしようとする。
- 2-①いろいろな職業や生き方が分かる。
- 2-①自分に必要な情報を探し、活用する。
- 2-②見学や職場体験を通し、働くことの大切さや苦勞が分かる。
- 2-②職業についての話や職場体験等を通し、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことが分かる。
- 3-①社会生活にはいろいろな役割があり、自分の役割を果たすことの大切さが分かる。
- 3-②就きたい仕事やなりたいものなどの希望をもち、実現するための計画をまとめ、実行しようとする。
- 4-①自分の興味・関心や適性を生かした職業を主体的に選択しようとする。
- 4-②将来の夢や希望をもち、実現するための生活や学習上の課題を見つけ、解決に向けて努力しようとする。

3 単元について

児童は5年生までの総合的な学習の時間を通して、人とのつながりや地域とのかかわりの大切さを実感してきた。今年度は自分や友達の家族、地域で働いている人々に目を向け、それらの人とかかわりの中から、いろいろな職業があることや働くことの意義や大切さ、生き方について学ばせたいと考えた。そこから児童一人一人が将来の夢や希望を見つけ、それを叶えるためのこれからの目標を明らかにし、自己を見つめ直すことができることを期待し、この単元を設定した。

キャリア教育の視点から考えると、職業や生き方についての話を聞いたり、職業体験や職場体験をしたりするなど、様々な体験から学校で学ぶことと社会・職業生活との関連を理解し、前向きに自己の将来に対する進路計画を立て、実現に向けて努力していく態度を養う一連の学習は、直接的に職業的発達にかかわる諸能力を育成することができる。さらに、これらの一連の学習は、中学校でのキャリア教育の一環である職業体験学習につながる学習である。と考える。

学びの質を高める学習支援の工夫として、調べ学習や体験的学習など、個人の学びの後には必ず意見交流を設定し、いろいろなものの見方や考え方にふれ、児童一人一人の考えが深められるようにしていきたい。その際には、児童同士の学び合いがより深まるよう、話し合いの方法を工夫していく。

また、学校教育指導方針の「横断的・総合的な学習や探究的な学習としての充実」という努力事項を踏まえて、児童の発達特性をとらえ、目標や内容に沿った適切かつ効果的な体験活動を工夫していきたい。

4 学習活動計画 (75時間扱い)

		ね ら い	学 習 活 動	1	2	3	4
で あ う	1～8	○いろいろな職業があることが分かる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「夢」「職業」から想像することをイメージマップに書く。 ・イメージマップで広がった内容についてグループごとに話し合う。 ・家族や地域の方にインタビューし、いろいろな職業について調べる。 ・調べてきたことをグループで話し合う。 		①		
	9～12	○自分の興味・関心やよさを生かし、なりたい職業を選択しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめ直したり、家族や友達にインタビューしたりして、自分のよさについて考える。 ・自分の興味・関心やよさを生かして、なりたい職業を決定する。 	①	②		①

で あ う	13～22	○家族へのインタビューや様々な職業のゲストティーチャーの話から、いろいろな職業や生き方があることや、社会生活においてそれぞれの役割を果たしていること、相手の立場に立って考えて行動していることが分かる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家族に、職業の仕事内容・その職業を選んだ理由・やりがい・苦労・人とのかかわり・働くとはどういうことかについて、インタビューをする。 インタビューした内容をグループで話し合う。 ゲストティーチャーの話を聞く。(家族へのインタビュー内容についても、ゲストティーチャーの立場から話を聞く。) 家族やゲストティーチャーの話から、いろいろな職業や生き方、役割、相手の立場に立って行動することについて考えたことをまとめ、グループごとに話し合う。 	②	① ②	①	
ふ か め る	23～32 33～42 43～52 53～54 本時 (1/2)	○なりたい職業について調べ、実現するためにはどうしたらよいか分かる。 ○職業体験を通して、いろいろな職業があることや、社会生活にはいろいろな役割があること、相手の立場に立って考えて行動していることが分かる。 ○職場体験を通して、いろいろな職業や生き方があることや、社会生活においてそれぞれの役割を果たしていること、相手の立場に立って考えて行動していることが分かる。 ○職業についての話や職場体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことが分かる。	<ul style="list-style-type: none"> インターネットや本、インタビューなどの方法を使い、なりたい職業について調べる。 仕事の内容や仕事につくための進路や資格について調べ、工夫してまとめる。 キッザニアで職業体験をし、仕事の内容・やりがい・苦労・今までの学習を生かしたこと・人とのかかわり・学んだことについて自分の考えをまとめ、グループで話し合う。 職場体験をし、職場の印象・担当した仕事内容・やりがい・苦労・今までの学習を生かしたこと・人とのかかわり・学んだことについて自分の考えをまとめ、グループで話し合う。 社会・職業生活と学校生活との関連について話し合い、今しなければならないことを考える。 	①	① ② ②	①	
ふ り か え る	55～75	○なりたい職業に就くための計画をまとめ、実現させるために自ら課題を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> なりたい職業に就くための計画をまとめる。 計画を実現するための生活や学習上の課題を見つけ、具体的な解決法を考え、取り組む。 これまで学習してきたことやこれからの計画を自分なりに工夫してまとめ、発表し合う。 友達の発表を参考にして自分の計画や課題をもう一度見つめ直し、加除修正する。 	②	①	②	②

キャリア教育の視点 1 人間関係形成能力、 2 情報活用能力、 3 将来設計能力、 4 意思決定能力
(かかわる力) (見つける力) (えがく力) (もとめる力)

5 本時の活動 (53 / 75)

(1) ねらい

- 職業についての話や職場体験等を通し、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連について理解することができる。

<キャリア教育の視点>

- 2-② 職業についての話や職場体験等を通し、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならないことが分かる。

(2) 本校の学校目標との関連

「自ら学び自ら考える」という学習面での学校教育目標に対して、以下のような学習指導の具体的な工夫を行う。

- ・ 見通しをもって話し合いに参加できるようにするとともに、主体的に話し合える場を工夫して自ら学ぶ意欲を育てる。

(3) 準備・資料

- ・ 課題文 ・ 四つの力の提示カード ・ 考え記入用カード ・ 掲示用話し合いの流れ
- ・ ワークシート ・ 発表用模造紙

(4) 展 開

学習活動・内容	教師の支援・評価						
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今までの学習をもとに、働く上で大切なことと学校で学んでいることのかかわりを考えよう。</p> </div> <p>2 今までの学習や体験を通して、働く上で大切なこととは何かをグループで話し合う。</p> <p>(1) 自分で大切だと思うことを、カードに書き出す。(1枚のカードに一つの考えを記入する。できるだけ多くの考えを出す。)</p> <p>(2) 1人目の発表者は、カードを机上に並べ、考えの理由を示しながらカードの内容を説明していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 25px; height: 25px;">A</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25px; height: 25px;">B</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25px; height: 25px;">C</td> <td style="border: 1px solid black; width: 25px; height: 25px;">D</td> </tr> </table> <p>(AB・・・は個人の考えを示す)</p> </div> <p>(3) 1人目の説明が終わったら、2人目が1人目と同様に、考えの理由を示しながら、カードの内容を説明していく。(1人目と同様な内容は、1人目のカードの上に重ねていくようにする。これをグループ全員が行う。)</p> <p>(4) 出揃ったカードを、グループで話し合い、「A自分がすること」「B人に対してすること(かかわりかた)」の二つに類型化していく。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>A 自分がすること</p> <ul style="list-style-type: none"> 話をよく聞く やり遂げる 責任を果たす 正確に行う がまんする 体力を付ける 知識を備えている </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>B 人に対してすること(かかわりかた)</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 言葉づかい 笑顔 やさしく接する 相手の気持ちを考える </td> </tr> </table> <p>(5) 類型化したものを、模造紙に貼る。</p> <p>3 グループでの話し合いの結果を全体に発表する。</p> <p>4 全グループの結果を踏まえ、働く上で大切なことと学校で学んでいることのかかわりについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>働く上で大切なことと学校で学んでいることは、どのようなかかわりがあるだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く上で大切なことは、学校で学んでいることと同じである。 ・ 働く上で大切なことは、学校で学んでいることがもとになっている。 </div> <p>5 働く上で大切なことと学校生活とのかかわりについて、分かったことと考えたことをまとめる。</p> <p>6 本時の学習内容を振り返り、次時の学習内容を知る。</p>	A	B	C	D	<p>A 自分がすること</p> <ul style="list-style-type: none"> 話をよく聞く やり遂げる 責任を果たす 正確に行う がまんする 体力を付ける 知識を備えている 	<p>B 人に対してすること(かかわりかた)</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 言葉づかい 笑顔 やさしく接する 相手の気持ちを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四つの力の中で、本時において重視する力は、「見つける力」(情報活用能力)であることを確認する。 ・ 家族やGTへのインタビュー、職業体験や職場体験など様々な体験活動を振り返り、本時の学習課題を確認する。 ・ 話し合いの流れについて具体物を使って説明し、計画的に話し合えるようにしていく。 ◇ グループでの話し合いが深まるよう3～4人でグループを構成する。 ・ 各グループ毎に学習リーダーとなれる児童が配属されるよう、グループ構成を意図的に行う。 ・ 自分の考えをカードに記入する際には、短い言葉で記入するよう助言する。 ◎ 自分の考えがまとまらない児童には、既習のワークシートに戻り、考えを整理させる。 ◇ 自分の考えを説明する際には、考えの理由をできるだけ具体的に示せるよう助言する。 ◇ 友達と同じ考えであっても、考えの理由は自分の立場から必ず説明するよう確認する。 ◇ 社会・職業生活と学校で学ぶことの関連に気付きやすくするために、「A自分がすること」＝学習・生活における自立「B人に対してすること」＝集団生活の中での人とのかかわりに分け、学校生活をイメージさせやすくする。 ◎ ATは、自分の考えをまとめたり、記入したりすることが難しい児童や、自分の考えを説明することが難しい児童に寄り添い、課題を解決できるよう支援する。 ◎ 類型化する際には、大きく「A自分がすること」「B人に対してすること」の二つに分けるが、進行が早いグループには、A・Bの中でさらに細かく類型化してみることを助言する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する際には、模造紙を発表資料として活用することを確認する。 ◇ かかわりについて、考えをまとめる際には、児童に考える視点をもちやすくするよう「働く上で大切なことは、学校で学んでいること()」の()に入る言葉を考えさせ、自分の考えをもたせる。 ◎ かかわりについて、考えをまとめることが難しい児童には、働く上で大切なことを学校生活に具体的に当てはめて考えさせ、かかわりについてつかませる。 ・ 働く上で大切なことと、学校で学んでいることは結び付いていることに気付かせ、今の自分たちの学びは、将来につながっていることを確認する。 ☆ 職業についての話や職業体験等を通し、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連について理解することができたか。 <p style="text-align: center;">2-②(発表・ワークシート) 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の夢を実現させるために、今しなければならぬことについて考えていくことを告げ、次時以降の意欲を高める。
A	B	C	D				
<p>A 自分がすること</p> <ul style="list-style-type: none"> 話をよく聞く やり遂げる 責任を果たす 正確に行う がまんする 体力を付ける 知識を備えている 	<p>B 人に対してすること(かかわりかた)</p> <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 言葉づかい 笑顔 やさしく接する 相手の気持ちを考える 						